

反改憲運動

通信 第7期

1部 200円
2012.4.25 No. 22

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-21-7 静和ビル 2A
淡路町事務所気付 Tel. & Fax. : 03-3254-5460
E-Mail : han-kaiken-editor@alt-movements.org
Website : <http://www.alt-movements.org/han-kaiken/>
年間定期購読料 4,000円 (2011. 6~2012. 5)
郵便振替 00190-7-11558 「反改憲」運動情報通信

輝け9条 生かそう憲法 平和とくらしに 被災地に

——2012年5・3憲法集会——

東電福島第一原発の事故と爆発を含め未曾有の東日本大震災が招いた歴史的な危機の下で、政治は停滞し、社会全体を閉塞感が覆っている。2009年の政権交代をもたらした衆議院議員総選挙も、その後の民主党政権の迷走・逆走で多くの人がとくに失望感をもたらしたまま、早ければ年内にも、遅くともあと1年半でまた総選挙がくる。こうした政治状況の中で、2007年の明文改憲をめざした安倍晋三内閣の崩壊以来、しばらく鳴りを潜めていた憲法改悪の企てが、ここにきて明文改憲、解釈改憲の両面から一斉に活発になってきた。憲法運動をめぐる局面の転換が来た。

昨年11月から始動した国会の憲法審査会での議論では、東日本大震災を口実として憲法に「非常事態条項」「国家緊急権条項」を導入すべきだとの主張が自民党などの委員から相次いでいる。

自民党が2005年に採択した新憲法草案をことしの4月28日(サンフランシスコ講和条約発効60周年)を期して、天皇元首規定や、自衛軍保持、国民の憲法遵守義務など、憲法3原則と立憲主義を破壊して、いっそう復古主義色濃く改定し、それを国会に提出しようとしたり、次期衆院選の公約のトップに据えたりする動きや、石原慎太郎・都知事らの新党、橋下徹・大阪市長らの「維新の会」による新党の動きのなかでも「改憲」がその政策の主要な柱とされている。従来、明文改憲には比較的消極的であった民主党も、これらの動きに引きずられて、同党憲法調査会が「非常事態条項」の導入などの改憲議論を始めている。

そして、民主党野田内閣のもとで、この間、「国是」とされてきたような武器輸出3原則、PKO5原則などもタガをはずしたかのごとく、相次いで緩和されようとしている。先の南スーダンへの自衛隊派遣につづいて、緊迫するホルムズ海峡には特措法、ないし恒久法で自衛隊を派遣しようとする動きや、北朝鮮のロケット実験に対応して南西諸島へのPAC

3配備やイージス艦を派遣したことなど、いわゆる「動的防衛力強化」のチャンスとする動きがある。自民党は国家安全保障基本法案を準備して、集団的自衛権行使の合憲化を企て、渡辺周防衛副大臣もこれに呼応しようとしている。

これらのさまざまな解釈改憲の動きも容易ならない事態になっている。

今年で12回目になる「5・3憲法集会」はこのような情勢の中で5月3日(木・休)日比谷公会堂で開かれる。超満員が予想されるため、公会堂の外に第2会場を設け、集会を中継する。開場は12:00(整理券配布11:00から)、開会は13:00からで、15:30からは銀座パレードを行う。

集会タイトルは「輝け9条 生かそう憲法 平和とくらしに 被災地に 2012年5・3憲法集会」。スピーカーは福島県の前原発震災の避難者でつくる「つながろう!放射能から避難したママネット@東京」の松本徳子さん、元宜野湾市長の伊波洋一さん、脚本家の小山内美江子さんと、例年のとおり社民党党首の福島みずほさん、共産党委員長の志位和夫さんである。

主催する「2012年5・3憲法集会実行委員会」の事務局の構成は、憲法改悪阻止各界連絡会議、「憲法」を愛する女性ネット、憲法を生かす会、市民憲法調査会、女性の憲法年連絡会、平和憲法21世紀の会、平和を実現するキリスト者ネット、許すな!憲法改悪・市民連絡会の8団体で、思想信条、政治的立場の違いを超えた共闘として12年にわたって継続されてきた。今年の集会にはJAL解雇撤回争議団、全労協議長、参議院議員今野東(民主党)、新社会党委員長、全労連議長、日本青年団協議会会長など各界の人びとからメッセージが寄せられている。

私たちはこの集会の成功を通じて、始まった改憲の動きに対する共同の反撃を開始する契機としたいと考えている。

(高田健/許すな! 憲法改悪・市民連絡会)

▶反戦、反原発、反「日の丸・君が代」、反天皇制、反改憲、反基地、反安保、を訴えることは、「思想及び良心の自由」、「集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由」、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」で保護されている。▶だが昨今は、それらを掲げて街頭に出ると右翼に襲撃され、デモの車は窓ガラスが割られ、運転手には水が吹きかけられる。デモ行進をする人にはモノが投げつけられ、体当たりされる。

憲法喧嘩

得体の知れない液体を振りかけられ、「非国民!」「日本から出て行け!」とくる。▶おかしすぎる…。警察は、デモがなくなれば問題がなくなるくらいの人権感覚で、素晴らしい内容の憲法条文も「国民」限定の排他性に気が滅入る。そして、生存の権利、平等と自由、平和と民主主義を訴える行動に牙をむく者も、その特権的な「国民」だ。「非国民」でけっこうだよ。みんな「非国民」になろう。(大)

九条の会・おおさか「憲法を生かして、いのちと平和をつむぐ」

大阪では「君が代」斉唱時の教職員への起立の強制では飽き足りず、立っている教員に対して、教頭らによる「歌っているかどうか」の口元確認まで進んでいます。起立はしたが歌わなかった教員は、自らの宗教的信念から「君が代」は歌えないといいました。これを強制している橋下・維新の会やそれに屈服した教育委員会には、君が代斉唱時の起立強制や斉唱の強制が憲法に謳う「思想・良心の自由」「信教の自由」に違反しているなどとは思えないのです。

それなら起立して、「タミガーヨーは、……」とやれば良いとかの揶揄も起こる中、幹部職員による声の確認のため口元への耳の押しつけや音声確認器を持って教職員の間をうろろろという漫画的事態まで起こりかねない大阪の卒業式、入学式の異常さです。さらに彼らは、大阪市職員に対して、回答しない者には処分するとの脅迫までして、労働組合活動・政治活動・選挙運動の報告を強要するアンケートを強制しました。大阪市長選挙時に対立候補の平松氏を応援した市の労働組合に対する報復です。さすがに労働委員会から違法の恐れありと中止の勧告を受けてしまいました。

その橋下市長は、自らの主張である震災被災地の瓦礫受け入れが進まない中で、その原因を「憲法9条」の所為にし始めました。「瓦礫を受け入れないのは、自己犠牲を一切受け入れないという憲法9条の精神の所為だ」というのです。これは、単なるこじつけに過ぎないと言うだけでなく、市長・公人としてこうした憲法に対する否定を公言することは、憲法99条の「憲法を尊重し擁護する義務」に違反している重大な

事態です。しかし、残念なことに、今大阪ではこれほどまでにひどい橋下・維新の会のこじつけと憲法違反にどうこうたる非難が巻き起こるという事態にはなっていません。憲法9条を守り活かしていこうとする我々にとってこの事態こそ深刻です。

大阪の教育労働者に対する「君が代」の強制、公務員労働者に対する労働条件の切り下げ・労働組合活動の自由の剥奪などに反対する闘いと連動し、支える活動と一体化した活動が求められています。

今年の九条の会・おおさかの「憲法記念日のつどい」は、「憲法を生かして、いのちと平和をつむぐ」と題して持たれます。講演のⅠ部は、イラク戦争や、チェルノブイリ・福島原発事故の写真を民衆の側に立ち、現場からとり続けている写真家の森住卓さんが「大震災の現場から」と題して、東日本大震災とりわけ福島原発事故の現場をふまえて報告します。「福島第一原発～風下の村」のスライド上映もあります。講演のⅡ部は関西大学法科大学院教授の木下智史さんが「いのちをめぐる憲法の要請」と題して行います。大阪女子高等学校軽音楽部のミニコンサートもあります。

(星川洋史／関西共同行動)

.....

憲法を生かして、いのちと平和をつむぐ

会 場：エルおおさか大ホール

参加費：1000円(学生500円、高校生以下・障がい者・介助者 無料)

施行65年 憲法記念日集会のご案内

アジア諸国との友好的外交関係を

「反改憲通信」読者の皆さん、こんにちは。平和フォーラムの八木隆次です。私たちは毎年5月3日に憲法記念日集会を開催しています。今年は憲法施行65周年であると同時に、サンフランシスコ条約締結60年です。そこで、日米・日中関係をテーマにシンポジウムを行います。

米ソ対立を基軸とした世界情勢は、急激に変化しています。EU諸国は、共通の安全保障の中で軍縮を進めています。しかしアメリカは、アフガニスタン戦争やイラク戦争に見られるように、世界の警察の役割を演じ続けようとしています。また台頭する中国を牽制し、同盟国との共同軍事演習を繰り返すなど、アジア太平洋地域における軍勢力を維持し続けています。

日本政府は2010年12月に新防衛計画大綱を発表しました。新防衛計画大綱では米軍と自衛隊の関係強化し、中国を脅威と捉え、基盤的防上力構想から即応性・機動性・実効性を兼ね備えた動的防衛力への変更をうたっています。アジア諸国の中であって、日本はアメリカ追随の外交姿勢から抜け出すことができません。

また政治家からは、戦前を引きずるアジア蔑視発言が繰り返されています。戦後補償・靖国・教科書などが、日本とアジアの友好の壁になっていることは明白です。

中国とロシアの国境問題の解決を見ると、日本が尖閣諸島

問題や竹島(独島)問題、北方四島問題を解決出来ずにいることが、外交的な怠慢であることが分かります。日本の貿易額の20%は中国、アジア諸国全体では50%近くになります。日本がアジアの国であることが明確になっています。

平和フォーラムは、アメリカとの関係を強化しつつも主体的外交を展開し、アジア諸国との友好的外交関係を構築することは可能だと考えます。その中で、東北アジア非核地帯や、アジアでの共通の安全保障を作るために、日本がイニシアチブを取っていくことが重要です。サンフランシスコ条約締結から60年を経過して、真剣にそのことを考えていきたいと思っています。

(八木隆次／フォーラム平和・人権・環境)

.....

施行65周年憲法記念日集会

サンフランシスコ条約締結60年 今、日本は！

日 時：5月3日(木・休) 13:30～16:00

会 場：日本教育会館3Fホール千代田区一ツ橋2-6-2

東京メトロ「神保町駅」3分・「竹橋駅」5分

発言者：江橋崇／平岡秀夫／大河原雅子／服部良一／渡辺美奈

連絡先：平和フォーラム(電話03-5289-8222)

福島から武藤類子さんをむかえる—5・3立川憲法集会

「継続は力なり」いや「続いていけばいいってものじゃない」両論が成り立つのだが、福島原発事故以来、反原発少数派の運動の継続がいかに大きかったかを痛感させられている。「前衛」とはこういう人びとを言うのだと、あらゆる逆境に直面しながら調査と検証と思索、そして行動を続けてきた先輩たちに脱帽する思いでいる。今年の立川憲法集会は、その一人武藤類子さんを福島から迎える。

準備は佳境に入った。とはいえ財政難と高齢化のダブルパンチをどう乗り越えるかが大きな課題だった。財政難は個人から集める賛同金の増額をお願いし、更に市の福祉協議会の市民活動助成金を申請、それが通って解決。当日集める会場カンパを全額福島の運動に送ることが可能になった。高齢化については、テーマの大きさから比較的若い世代の参加もボチボチ増え、準備の過程で、次の世代にひきつぐ流れを作れるかな？と古くからのメンバーは楽観的な胸算用をしている。

お金を出すだけの人、お金を出して集会に参加する人、チラシの印刷と配布、ポスター貼り、展示の作成、タイトル書きなどをする人、司会や出演を買ってでる人、準備会に出てスタッフとして企画し運営全般を担う人……すべてが欠かせない。こうした三多摩一円の市民の協力を集積して当日を迎えたい。

三多摩は首都圏を取り囲む基地群を抱えている。立川はか

つての砂川闘争の地であり、自衛隊立川基地に対する闘いはずっと継続されてきた。また、米軍横田基地はかつて核基地でもあって、対テロ戦争の輸送・出撃拠点でもある。今年3月、府中から横田基地に移駐した航空自衛隊航空総隊が運用を開始し、日米軍事同盟の要としての役割を深めている。沖縄配備に先んじて7月には、オスプレイの飛来も取り沙汰されている。これらの動きに対して5・6月に集会やデモも準備されている。さらに、周辺住民による新たな騒音訴訟にむけ、原告団結成も近い。

原発一核開発は軍事と密接につながっている。だが反戦の闘いと反原発の闘いはなかなか結びつくことができていない。それは中央でも、各地でも同様ではないだろうか？ 駅でビラを配っていると、「原発？ もう飽きた」という空気を感じることがある。電力逼迫＝日本経済破綻論や、脱原発＝大国の資格喪失論、そして核武装の可能性放棄＝北朝鮮・中国の脅威論といった論点にどうすれば踏み込むことができるだろうか？ それは大衆化した反原発運動の課題でもあるだろう。武藤さんの講演の題は『いま福島で起こっていること』。現場で起こっていることを出発点にしたい。武藤さんのお話はきっと私たちに示唆を与えてくれるにちがいない。展示やリレー発言、語り歌などもあって多彩な集会である。ぜひご参加を！

(加藤克子／市民のひろば・憲法の会)

PAC3自衛隊配備——バカげた大騒ぎのツケは…

あのバカげた大騒ぎはいったい何だったのか……？ 朝鮮民主主義人民共和国（朝鮮）が4月12～16日に打ち上げると予告していた人工衛星を長距離弾道ミサイルと断定し、「破壊措置命令」によって沖縄県内に展開していた自衛隊の撤退が19日に完了した。

予告期間に備えるとして政府防衛省は、沖縄島、宮古島、石垣島に迎撃用地対空誘導弾パトリオット（PAC3）を配備、海上に迎撃ミサイルを装備したイージス艦、与那国を含む各島々に数十～数百人規模の自衛隊を配置した。実弾を装填した銃を持つ迷彩服の隊員が闊歩し、戦時下と見まがう光景に、住民らは67年前の沖縄戦の記憶を呼び覚まされた。

消防庁は「攻撃対象地域・沖縄」と表示する文書を関係自治体に送付。沖縄県庁や関係市町村役所に自衛隊員を常駐させ、全国瞬時警報システム（J-アラート）を運用（実際には使用せず）するなど、行政・民間を巻き込んだ「戦時体制」作りを行った。

これに対し、各島々の住民らは「沖縄を再び戦場にするな」「宮古島を軍事の島にしないで」「自衛隊常駐への地ならしを許さない」と声をあげ、抗議行動を展開した。

4月11日、沖縄県庁前で行われた「政府防衛省・自衛隊によるPAC3の配備運用に反対し外交の平和的解決を求める県民集会」（市民・労働10団体主催。300人参加）で、城間勝・沖縄平和市民連絡会共同代表は「大騒ぎをしているのは世界中で日本だけ。沖縄への自衛隊配備、米軍強化のための

最大イベントとして利用している」、安次富浩・ヘリ基地反対協議会共同代表は「石垣への自衛隊配備は県民を敵と見なしている。戦前の日本軍と同じだ」と語った。石垣島に行ってきたという沖縄社会大衆党の比嘉京子県議は「ものものしい警備は何を守るためか？ 八重山教科書問題も旧日本軍司令部壕の説明板削除問題もみんなつながっており、大きな力が襲いかかっている」と危機感を露わにした。

4月13日、朝鮮の衛星打ち上げは失敗に終わったが、日本政府にとってそれはどうでもよいことだった。「北朝鮮の脅威」を利用した「（新防衛大綱に基づく）島嶼防衛」演習、米軍・日本軍を含めた沖縄の軍事要塞化が彼らの最大の目的であり、「危機管理能力の欠陥」が指摘されながらも、彼らはその目的を一定程度果たしたと思う。

NHKをはじめマスメディアが「北朝鮮が衛星と称する事実上のミサイル」というおかしい日本語を繰り返し（残念ながら沖縄の地元メディアも例外ではなかった）、どこの国もやっている人工衛星やミサイル実験を、朝鮮だけはことさらに危険だと煽った。少なくない県民が「北朝鮮は怖い」と洗脳され、自衛隊配備もやむを得ないと思わせられたそのツケは、今後の沖縄に大きな陰を落とすのではないかと危惧している。5月15日、40周年を迎える沖縄の「日本復帰」とは何だったのか、改めて問わざるをえない。

(浦島悦子／ヘリ基地いらない二見以北十区の会共同代表)

「再稼働ありき」の政治に終止符を

これが読者の手に渡るころ再稼働問題がどのように傾いているか、容易に見通せない。政府は、安全性の検証はおろか、その議論をすっ飛ばして、あからさまな問題のすり替えに終始している。テレビは再稼働問題を全く重要と捉えていないし、大手新聞は「すり替え」の手伝い＝電力の話ばかり。事故から一年経っても東電福島原発がいまだ危機的状況にある中で、正しく政治をやる人間なら、原発なしで電気をまかなう施策をうつぐらいは、当然の仕事だ。

4月第一週のドタバタ劇を経て4月第二週、「枝野経産相の福井入り」は4月14日に決行された。同時に複数の党役員も関西方面に出張していた。4閣僚の後ろには5人組とやらがいるそうで、ここのところアリバイ作りの閣僚会議と体裁だけの記者会見の連続だ。どこまでも市民に背を向ける野田政権。

少しさかのぼって3月後半、経産大臣は「電力需給を安全性に結びつけることはしない」かのように発言して、「現時点では反対、全国が地元」とも述べていた。しかし急きょ、保安院には「暫定基準を作れ」の指示、関電には「安全性を確保するための工程表」の提示を求め、ついに「(大飯3、4号機は)われわれの判断基準に適合している」と述べるに至った。合格させるために作った基準など紙切れ同然ではないか。事故そのものが未解決なうえ、老朽化だけでない原因がそこら

じゅうに見え隠れしている。それに、10年以上実質的な対策を講じなかった保安院は意見聴取会で出された数々の警告を受け入れず、原子力安全委員会のトップは逃げ腰状態。この状況で、原子力に素人の政治家が「基準をつくる」とは、何と傲慢な。稚拙と言われて返す言葉はないはずだ。

さらに枝野氏は、福井行きを前に「原発への依存をゼロにしたい」などと発言。これに喜ぶ人が多いらしいが、絶対信用していけないのはこの手の発言だ。舌の根も乾かぬうちに次は何をいい出すことか(語録を挙げれば切りがない)。

藤村官房長は「地元同意は前提条件にならない」と言っていたが、それもそのはず、彼らの言う「地元」には、事業者と天下り関係にある人間が勢ぞろいなのだ。逆の意味で「新たな同意」が要らないということか。

「再稼働」にむけた一連の動きは全くの茶番だ。「再稼働ありき」というレール、次の過酷事故をまねく危険なレール。この先、大型連動地震が迫っていると警戒も発せられ、当然予想される高層ビルほどもある大津波に、どんな対策があるというのだ。少なくとも原子炉は、停止させておく必要がある。核廃棄物の処理も切迫している。これらを本気で考える人間は、国会の中に、内閣の中にまったく居ないのだろうか。

「レベル7超×4基」の深刻さを全く理解していない関係者が多すぎる。(千葉澄子／福島原発事故緊急会議)

◆原発を読む◆ 『内部被曝』 矢ヶ崎克馬、守田敏也 著／岩波ブックレット No. 832 / 560円＋税

フクシマの事故以来、放射能に対する恐怖は私たちの脳裏から離れませんが、殊に子どもを育てている親の怖れと迷いはどれほどのものでしょう。食品の放射能の数字はときどき知ることができるけれど、ほんとうのところ、「内部被曝」とはどういうものなのか、どうもよくわからない、とかねて思ってきました。

このブックレット(対談形式)を読むと、「内部被曝」の研究は実は伏せられていて、研究したり、公表したりしにくい状況が学界にあるらしいことがわかってきました。ヒロシマ・ナガサキのあとのアメリカの調査(例のABCCなどの)により、外部被曝に対して内部被曝は格段に被害が大きいことがわかり、核兵器の残虐な殺戮性を隠さないと、今後の核戦略と原子力産業の発展の妨げになるから、伏せていく方針がとられることになったそうです。そうリードしたのは国際放射線防護委員会(ICRP)で、そこが国際的権威ということになり、ほとんど世界のすべての医療機関、教育機関、原子力機関などがこの考えを受け入れているとか。これを批判してきたヨーロッパ放射線リスク委員会(ECRR)では、内部被曝の危険度は、外部被曝の600倍と指摘しているようです。アメリカ追従のこの国は、もちろんそのことは言わないわけです。私たちが、内部被曝のことについてモヤモヤわからないはずなのでした。

矢ヶ崎さんは広島大学で物理学を専攻、琉球大学で定年まで理学部教授をつとめられた方ですが、「原爆症認定集団訴訟」で内部被曝の証言をなさったと、紹介にあります。「被曝

の解明に重要なことは放射線が生命体に作用するプロセスや、体内に入った放射性物質と被曝の状態を具体的に明らかにすることです。物理的な視点でこれを考察しているのは現在では私だけです。」とありますから、貴重なテキストといえるでしょう。

第2章の「内部被曝のメカニズムと恐怖しさ」にその仕組みが解説されています。相当むずかしくて、何度も読み直さなければわからないのですが、政府や東電が私たちを騙すのに、この難解さこそが都合なのだと気づきます。たしかにむずかしいのですが、矢ヶ崎さんは冷たい科学者ではなく、どの部分にも深いやさしさを感じられます。殊に被災地の人たちの迷いや決断に寄り添い、考え深い助言が全体にちりばめられていると感じました。

あとの目次は、第1章「被曝直後のフクシマを訪れて」、第3章「誰が放射線のリスクを決めてきたのか」、第4章「なぜ内部被曝は小さく見積もられてきたのか」、第5章「放射線被曝に、どのように立ち向かうのか」となっています。

聞き手の守田さんは、フリーライターとして、被災地を自転車で飛び回って取材を続けている方。その指摘に、人、といっても老幼、男女、免疫力などに差があるのを、一視同仁にしていることの危険性へ警告があっただけに頷けます。

たった71ページの冊子ですが、教えられることばかりです。内部被曝は怖ろしい、隠すほうも悪いけど、無知もダメと思いました。ぜひ読んでください。

(梶川涼子／事務局)

反改憲ニュースクリップ

2012年4月1日～4月20日

石原都知事 「尖閣を都で買うことにした」

【4月2日】〈生存権〉国の生活保護制度見直しによる老齢加算廃止は生存権を保障した憲法などに反するとして、北九州市在住の生活保護受給者39人が市に処分取り消しを求めた訴訟の上告審判決で、最高裁第2小法廷が、受給者側勝訴とした2審・福岡高裁判決を破棄し、一部の審理が不十分だとして同高裁に審理を差し戻した。

【4月6日】〈思想調査〉大阪市が市職員の政治・組合活動を調べるために回答を義務付けたアンケートについて、調査を担当した市特別顧問の野村修也弁護士が、回答書を未開封のまま全て廃棄した。

【4月8日】〈都知事〉石原慎太郎都知事が陸上自衛隊第1師団の創立50周年記念式典で述べた祝辞の中で、「敗戦後の占領統治のために作られた憲法が独立後もまだ続き、その拘束のなかで国を守る軍隊が自由に行動できない。こんなものは無効で破棄し、みんなで新しい憲法を即座に作ったい」と発言した。

【4月10日】〈女性宮家〉女性皇族が結婚後も皇族の身分にとどまる「女性宮家」創設に関する第3回有識者ヒアリングを政府が首相官邸で開催。ジャーナリストの櫻井よしこと百地章・日本大教授が「女系天皇」につながりかねないとして、反対する考えを表明した。〈在日米軍〉米海軍横須賀基地に配備されている原子力空母ジョージ・ワシントンが、原子炉周辺のメンテナンスで生じた低レベル放射性廃棄物入りのコンテナを運搬船に積み替える搬出作業を行った。

【4月11日】〈オスプレイ〉米海兵隊の垂直離着陸輸送機MV-22オスプレイが、モロッコ南西部アガディールを拠点に行われていたモロッコ軍との合同演習中に墜落し、海兵隊員2人が死亡、2人が重傷を負った。

【4月12日】〈安保基本法〉自民党が国防部会と安全保障調査会の合同会議で「安全保障基本法案」をまとめる。憲法解釈を変更して集団的自衛権行使を可能にした。〈自衛隊〉航空自衛隊百里基地所属のF4戦闘機が、訓練中に右翼の機外タンクのパネル部品を落下させる事故を起こした。

【4月13日】〈北朝鮮「衛星」発射〉北朝鮮が人工衛星と主張する「光明星3号」の発射実験を行ったが、発射直後に爆発し黄海に落下した。

【4月16日】〈尖閣諸島〉訪米中の石原慎太郎都知事がヘリテージ財団で講演し、尖閣諸島の一部を都が購入することで民間の土地所有者と基本合意したことを明らかにした。〈原発再稼働〉民主党の仙谷由人政調会長代行が原発再稼働問題

について、「(すべての原発を)直ちに止めた場合に日本の経済と生活がどうなるのかを考えておかなければ、日本がある意味では集団自殺するようなもの」と述べた。

【4月17日】〈尖閣諸島〉石原都知事の尖閣購入構想について、藤村修官房長官が国有化の可能性に言及。他方、尖閣諸島を行政区域とする沖縄県石垣市の中山義隆市長は、「国境離島の尖閣諸島は個人ではなく国や県、自治体が所有する方が得策で、石原知事の考え方を好意的に受け止めている」と述べた。その上で、石垣市も入っての共同所有が望ましい、とした。また、神奈川県黒岩知事は「『素晴らしい、どんどんやって下さい』と応援する気持ちにはなっていない」と発言。〈北朝鮮「衛星」発射〉北朝鮮政府が、ウラン濃縮活動や核・ミサイル実験の中断に応じるとした2月の米朝合意に「これ以上拘束されない」とする声明を発表し、合意の破棄を表明した。〈原発再稼働〉関西電力大飯原発3、4号機の再稼働について、滋賀県知事と京都府知事が、脱原発依存社会に向けた工程表の提示や原子力規制庁の早期設置など7項目の共同提案を発表した。

【4月19日】〈尖閣諸島〉沖縄県石垣市議会が、尖閣諸島についての意見書を賛成多数で可決。国が購入して行政区域である石垣市に払い下げるように求めた。〈一院制〉民主、自民、公明など超党派の議員でつくる「衆参対等統一院制国会実現議員連盟」(会長・衛藤征士郎衆院副議長)が国会内で総会を開き、衆参両院について規定する憲法42条の改正案を今国会に議員立法で提出することを決めた。〈米軍再編〉日米両政府の在日米軍再編ロードマップ見直しに関して、両政府の外務・防衛当局の審議官級協議が外務省で開催され、在沖縄米海兵隊グアム移転経費の日本側負担について、2009年当時の米国の物価ベースで上限28億ドル(約2260億円)としたグアム移転協定の枠内で、物価上昇分を加味した現在の物価ベースの支出額31億ドル(約2500億円)と変更することに合意した。一方、日本側負担のうち出資・融資分となっていた32.9億ドル(約2670億円)はゼロとする方向。また、グアム移転協定の枠外で、米領北マリアナ諸島テニアンに自衛隊が駐留し共同訓練を行うこと、同基地の整備費の一部を日本側が負担することも決めた。米軍普天間飛行場の補修費用(今後8年間で200億円)の一部を日本側が負担することも確認した。

【4月20日】〈尖閣諸島〉沖縄県の仲井真弘多知事が「尖閣諸島は議論がある地域であり、色々な方に考えてもらうことは沖縄にとっていいことだ。(石原都知事に)考えを直接うかがってみたい」と発言。〈南スーダンPKO〉陸上自衛隊がPKOで展開している南スーダンとスーダンの間で衝突が激化している問題で、田中直紀防衛相が治安情勢の徹底調査を指示したことが判明。ただし、自衛隊2次隊の派遣がずれ込まないように、現地調査団の派遣は見送った。〈原発再稼働〉枝野幸男経済産業相が大飯原発3、4号機以外の再稼働は「原子力規制庁の発足を待つべきだ」と発言したことについて、藤村修官房長官が「規制庁うんぬんという確認は(野田佳彦首相や枝野大臣らと)一切していない」と発言。

事務局から～

転居の際には… 15号より、宅配メール便で発送しております。郵便局の転送サービスが適応されませんので、転居の際には、必ず事務局までお知らせください。事務所にはスタッフが常駐していません。ご連絡の際にはフアクシミリか電子メール、お葉書が確実です。よろしくお願いします。

12 私も一言 150

星埜恵 (ピープルズ・プラン研究所事務局)

2010年の秋、日本にクラウン・アーミーがやってきた。ドイツ発、笑いで権力をひっくり返す、ピエロ集団である。近年の脱原発アクションの中でも、赤鼻、白塗りに派手な衣装で笑顔と皮肉のアクションを振りまくピエロたちに出会った人も多いかもしれない。彼らは、ドイツからやってきたクラウンたちのワークショップを受け、それを引き継いだ和製クラウン・アーミーたちだ。近年のヨーロッパでの反グローバリゼーション運動の中で大きな成果を収めてきたこのクラウン・アーミーは、機動隊やデモ隊の間に入り緊張を緩和する役割やおもしろアクションで権力をみごとにバカにす

る役割を担ってきた。一昨年ドイツからはるばる陸路で自転車に乗ってやってきた彼らの滞在に少なからず関わっていた私は、彼らの教えるクラウン・ロジックから大きな影響を受けた。彼らは徹底した非暴力直接行動のロジック、権力を笑い飛ばすためのアクションの方法や、クラウンになるひとりひとりのメンバーの心の持ち方、仲間同士の対話・ふれあいの重要性を教えてくれた。

ドイツからのクラウン・アーミーたちが日本を去った後、沖縄の高江に滞在した私は目の前で米軍ヘリパッド基地新設のための工事と反対運動の激しい攻防に直面した。工事作業員として沖縄出身の若者たちが雇われ、ヘリパッド建設に反対する住民と対立させられていた悲しい現場だった。この緊張の現場で赤い鼻をつけたクラウンの友人がいた。暴力的になりかけていた作業員の若者がふっとその鼻に触れた瞬間、その現場が笑いに包まれた。「作業員側」、「反対運動側」として分断させられた現場で、お互いの人間としての心が取り戻された瞬間のように感じた。怒りや暴力に任せたくなくなってしまふ文脈は今の日本社会では様々あるが、笑い・非暴力・対話の可能性をしつこく追求していきたい。

集会・行動情報 4/28 ~ 5/15

▶4/28 (土)「終焉に向かう原子力第14回『チェルノブイリハート』上映と広瀬隆講演会◆参加費1000円(先着順450人)◆12:00開場・13:00上映◆文京区民センター3A(都営地下鉄春日駅、東京メトロ後楽園駅下車)◆「終焉に向かう原子力」実行委員会、浜岡アクション

■60年目の沖縄デーに植民地支配と日米安保を問う◆講演:新垣誠、太田昌国◆資料代800円◆18:00開始◆文京区民センター2A会議室(都営地下鉄春日駅、東京メトロ後楽園駅下車)◆反安保実行委員会+反「昭和の日」実行委員会

▶4/29 (日)植民地支配と日米安保を問う 反「昭和の日」集会とデモ◆8分間スピーチ◆資料代500円◆13:30開始◆日本キリスト教会館4F(地下鉄東西線早稲田駅下車)◆反「昭和の日」実行委員会

■昭和の日を考える集会「ハズムはファシズムか——大阪で今何が起きている?」◆報告:吉田宗弘◆13:30◆静岡労政会館(JR静岡駅北口下車)◆4・29集会実行委員会

▶5/3 (木・休)輝け9条、生かそう憲法——平和と暮らしに、被災地に 5・3憲法集会◆スピーチ:伊波洋一、小山内美江子、松本徳子(つながろう!放射能から避難したママネット@東京)、福島みずほ、志位和夫、サックス演奏:中川美穂◆入場無料◆開場12:00(11:00より入場券配布)、開会13:00、パレード出発15:30◆日比谷公会堂(東京メトロ霞が関駅、都営地下鉄三田線内幸町駅下車)◆2012年5・3憲法集会実行委員会(※1ページ参照)

■12年憲法集会「それでも原子力にたよるの——すべての原子力を廃炉に」◆講演:武藤類子(ハイロアクション福島)◆13:00◆立川柴崎学習館(JR立川駅、多摩モノレール立川南駅下車)◆市民のひろば・憲法の会(※3ページ

参照)

■憲法記念日のつどい「憲法を生かして、いのちと平和をつむぐ」◆講演:森住卓◆参加費1000円(学生500円、高校生以下・障がい者・介助者無料)◆13:00開場、13:30開会◆エルおおさか大ホール(地下鉄谷町線・京阪線天満橋駅下車)◆九条の会・おおさか(※2ページ参照)

■野宿者・持たざる者の全都メーデー◆13:00集会、14:00デモ◆御徒町公園(JR御徒町駅、東京メトロ日比谷線仲御徒町駅、都営地下鉄大江戸線上野御徒町駅下車)◆2012年メーデー実行委員会

■施行65周年憲法記念日集会「サンフランシスコ条約締結60年 今、日本は!」(※2ページ参照)

▶5/4 (金・休日)自由と生存のメーデー2012◆13:00~新宿駅東口アルタ前、サウンドデモ◆18:00~メーデー集会◆フリーター全般労組事務所(京王新線初台駅下車)◆同実行委員会

▶5/5 (土・休日)原発ゼロの日 さようなら原発5・5(ゴーゴー)集会◆13:00~コンサート、13:30~集会、14:30デモ出発◆芝公園23号地(都営地下鉄三田線御成門駅下車)◆さようなら原発1000万人アクション

▶5/8 (火)大阪市議会に「教育基本条例」「職員基本条例」反対の声を! 本会議開会直前集会◆開会18:30、デモ20:00◆エルおおさか南館ホール(地下鉄谷町線・京阪線天満橋駅下車)

▶5/15 (火)沖縄「日本復帰」40年を問う集会とデモ◆沖縄からの訴え:東恩納琢磨◆16:00~「復帰40年記念式典」糾弾、首相官邸前抗議行動、国会記者会館前路上(東京メトロ国会議事堂前駅下車)◆集会18:30~代々木公園けやき並木(JR山手線渋谷駅、原宿駅下車)◆沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック